

Ⅲ 北海道博物館の運営

1 施設及び周辺環境の整備

道民とともに歩み、愛される博物館として豊かな時間と空間を提供し続けるために、関係機関と連携を図りながら周辺環境の整備や利用者の安全確保に努めると共に、記念ホールなどの館内施設の活用を図っています。

関係機関との連携

北海道博物館、北海道開拓の村、野幌森林公園自然ふれあい交流館及び道立自然公園野幌森林公園の一体的かつ効果的な管理・運営に努めていくため、関係機関との一層の連携を進めています。

(1) 道立自然公園野幌森林公園管理運営協議会

この協議会は、道立自然公園野幌森林公園の関係機関相互の情報交換や連絡調整を図り地域内の合意形成を行うとともに、道立自然公園における保護と利用促進に必要な施策を実施することで、実情に応じた保護・利用形態を創出することを目的として、平成13(2001)年4月6日に設置されたものです。

構成 (平成30年4月時点)

石狩森林管理署、北海道空知総合振興局森林室、札幌市、北広島市、江別市、一般財団法人北海道歴史文化財団、北海道博物館(事務局)

平成30年度の実施内容

実施日	内容
-----	----

2018年4月27日	運営協議会の開催(平成29年度事業報告、平成30年度事業計画の策定など)
------------	--------------------------------------

(2) 野幌森林公園林野火災予消防対策会議

この会議は、野幌森林公園における林野火災の予防及び消火に万全を期すため、関係機関との連絡調整をはじめ、公園区域内のパトロールや林野火災予防のための普及啓発活動を実施することを目的に設置されています。

会議に参加している機関 (平成30年4月時点)

野幌森林愛護組合、一般財団法人北海道歴史文化財団、公益財団法人北海道埋蔵文化財センター、石狩森林管理署、空知総合振興局、札幌市、江別市、北広島市、北海道博物館(事務局)など

平成30年度の実施内容

実施日	内容
-----	----

2018年4月27日	対策会議の開催	<議題>・平成29年林野火災発生状況 ・平成30年度野幌森林公園林野火災予消防対策実施要領案
------------	---------	---

施設管理

当館は昭和 46 (1971) 年に竣工した北海道開拓記念館の施設を利用しており、それ以来数度にわたり施設改修や設備の補修を実施してきました。平成 27 (2015) 年の開館に際して、多目的トイレの新設、収蔵庫電子ロックシステムの導入など、大規模な施設改修を行いました。開館後は、来館者の安全を確保し、より利用者の利便性の向上を図るため、館内設備の補修や周辺環境の整備に取り組んでいます。

平成 30 年度の設備および周辺環境の整備(9 件)

実施日又は期間	内容
2018 年 8 月 1 日～10 月 31 日	北海道博物館照明設備省エネ改修工事
2018 年 10 月 19 日～10 月 22 日	野幌森林公園内台風 21 号樹木被害等処理業務
2018 年 12 月 28 日～2019 年 3 月 28 日	北海道博物館吸収冷凍機溶液・冷媒ポンプ改修工事
2019 年 1 月 25 日～3 月 28 日	野幌森林公園街路灯台風被害改修工事
2019 年 3 月 14 日～3 月 28 日	北海道博物館はっけん広場防火扉防災設備設置工事
2019 年 3 月 14 日～3 月 28 日	野幌森林公園内台風 21 号樹木被害等処理業務その 2
2019 年 3 月 15 日～3 月 28 日	北海道博物館No.1 ボイラー燃焼コーン改修工事
2019 年 3 月 15 日～3 月 28 日	北海道博物館No.2 ボイラー空気ダンパー改修工事
2019 年 3 月 15 日～3 月 28 日	北海道博物館東口玄関庇軒下照明器具 LED 化工事

指定管理者業務 指定管理者は以下のような責任の分担により、施設や設備の維持管理などを行っています。

項目	区分	内容	道	指定管理者
施設の管理 運営	利用提供業務	・利用窓口（利用の受付、案内、承認、制限、取消し）、苦情対応、 利用指導等 ・駐車場における利用の承認、利用指導、苦情対応 ・特別展示室の貸室事業等の実施		◎
	利用料金の収受	利用料金の決定、収受、減免	○	◎
	博物館事業	(資料収集) ・北海道の歴史、文化、自然等に関する資料を収集 (資料の保存) ・北海道の歴史、文化、自然等に関する資料を保存管理 (資料の展示) ・展示及び特別展示の企画運営・解説 (調査研究) ・北海道の歴史、文化、自然等に関する資料等の調査研究 ・調査研究に伴う紀要、調査報告書等の発行等 (教育普及事業の実施) ・講演会、体験学習会等の開催による学習の場の提供等 ・体験学習室の運営 (案内書等の作成配布) ・展示物に関する案内書、解説書等の作成及び配布 (記念ホール等の使用) ・使用の受付、承認、制限又は取消及び付随業務 (特別観覧) ・資料の特別観覧の受付、承認、指示及び付随業務 (模写品等の刊行) ・資料の模写品等の刊行等の受付、承認 (資料の貸出) ・資料の貸出の受付、承認	◎	
	利用促進業務	パンフレット、ポスター、営業等による広報活動	○報道発表	◎
		インターネット・広報紙等による情報提供事業	◎	○
		利用者満足度調査の実施、結果の公表	◎	◎
	事故処理等	事故発生時の応急処置、道・警察等への連絡等	◎	◎
	災害時対応	災害発生時の応急処置、道・警察等への連絡等	◎	◎
	利用者の利便性向上等に資する業務	利用者の理解・利用の促進に資する行催事又は事業等の実施		◎
		食堂、売店等の設置による飲食物等の販売提供		◎
施設設備等の 維持管理	植物等管理	敷地内芝生・樹木等の管理		◎
	施設の保守点検	設備等の法定点検、供与物品の管理、管理施設及び備品等の修繕・更新、消耗資材の交換等	○	◎
	衛生管理	日常清掃、特別清掃、ゴミ処理		◎
	警備業務	警備業務（敷地内巡回点検等を含む）		◎
	除排雪	管理用道路、記念塔前ロータリー、百年記念広場区の遊歩道、業務用駐車場、記念塔前駐車場（博物館側）、博物館前庭等の除雪		◎
	展示施設の管理	・総合展示室の展示の保守業務（映像展示機器等の保守業務を含む）		◎
	有害駆除	・博物館建物内の防虫防鼠		◎
		・記念施設地区内の蜂、カラスの巣等駆除		◎
	備品等の管理	調査研究業務に係る研究備品等の維持、管理、更新等	◎	◎
調査研究業務以外に係る施設及び備品等の維持、管理、更新等			◎	
安全確保	施設利用者の安全確保		◎	
その他	指定管理業務に伴う財務、契約、記録管理等		◎	

※「北海道立総合博物館指定管理者公募要項」(平成30年10月)より抜粋

博物館資源の活用

展示会の関連イベントなどに際して、関係機関や団体と連携し、記念ホールや講堂などの大規模空間を活用した企画を実施したほか、総合展示室関連のオリジナルグッズの販売を行っています。

(1) 施設の活用

平成 30 年度の施設の活用

施設	実施日又は期間	内容	主催・企画者
記念ホール	2018年6月30日	こども体験展示室「武四郎を楽しもう！」(特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」第2会場)	北海道博物館
	～8月26日	きた旅の巨人 松浦武四郎」第2会場)	
	2018年11月3日	ミュージアムコンサート アイヌ音楽ライブ	北海道博物館
講 堂	(随時受入)	視察受入(海外、道議会等)の会場として活用	北海道博物館
	2018年4月27日	道立自然公園野幌森林公園管理運営協議会	北海道博物館(事務局)
	2018年4月27日	野幌森林公園園林野火災予防対策会議	北海道博物館(事務局)
	2018年6月30日	第3回特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」開会式	北海道博物館
	2018年7月26日～27日	教員のための博物館の日	一般財団法人北海道歴史文化財団他
	2018年10月17日	職業体験実習	北海道博物館
	2018年10月28日	北の みゆぜふえす	北のミュージアム活性化実行委員会
	2019年1月18日	シンポジウム「地域の情報拠点としての博物館」	道央地区博物館等連絡協議会他
	2019年3月7日～8日	日本博物館協会 平成30年度研究協議会	公益財団法人日本博物館協会
	グランドホール	2018年6月30日	関屋敏隆絵本原画展
～8月26日		絵本『北加伊道 松浦武四郎のエゾ地探検』	
2018年7月1日		アイヌ民族の伝統芸能公演(千歳アイヌ文化伝承保存会)	北海道博物館
2018年7月21日		アイヌ民族の伝統芸能公演(平取アイヌ文化保存会)	北海道博物館
2018年7月25日		全国知事会主催 弦楽四重奏	総合政策部地域振興局地域政策課
2018年8月19日		アイヌ民族の伝統芸能公演(帯広カムイトゥボボ保存会)	北海道博物館
2018年11月19日		北海道博物館におけるアイヌの人々の遺骨にかかる慰霊行事	北海道
	2019年1月13日	北海道化石フェスト'2019 at 北海道博物館	総合政策部地域振興局地域政策課

(2) オリジナルグッズ

区分	グッズ名		
総合展示関連(9品) (平成27年度より販売中)	付箋	定規	コットンバッグ
	メモ帳	鉛筆2本セット	木札ストラップ
	消しゴム	珪藻コースター	B5 ノート



総合展示関連グッズの一部

※オリジナルグッズは、北海道博物館入口のミュージアム・カフェ(指定管理者運営 TEL011-898-0466)で販売しています。

ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想

道立自然公園野幌森林公園は、昭和40年代の北海道百年記念事業の一環として公園指定され、公園内に所在する北海道博物館、北海道開拓の村、北海道百年記念塔は、北海道が積み重ねてきた歴史・文化や先人の遺業、そして自然に触れることができる場として、多くの方々に親しまれ、利用されてきました。

しかし、開設から約50年が経過したこともあり、施設の老朽化や利用者数の減少など様々な課題が生じていることから、北海道環境生活部では、50年後を見据えて、道民の財産であるこれらの施設を、歴史・文化・自然を体感し交流できる空間として再生し、次世代に伝えていくための基本構想として「ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想」を平成30(2018)年12月に策定しました。

主な検討経過

平成28(2016)年10月～平成29(2017)年10月	「北海道の歴史文化施設活性化に関する懇談会」開催(全5回)
平成29(2017)年11月	「百年記念施設の継承と活用に関する考え方」策定
平成30(2018)年4月～7月	住民等へのアンケート、専門家ヒアリング、大学への出前講座、道民ワークショップ実施
平成30(2018)年5月～8月	「ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想検討会議」開催(全3回)
平成30(2018)年9月	構想(素案)公表、パブリックコメント募集開始
平成30(2018)年11月	パブリックコメント実施結果及び構想(案)を公表
平成30(2018)年12月	ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想を策定・公表

構想の概要(基本方針・主な施設の方向性)

施設ごとの点としてではなく、自然豊かな周辺地域を含めたエリア全体を対象に、歴史、文化、自然を五感で「体感」し、国内外から訪れる多くの人々と交流できる賑わいのある空間として再生をめざします。

(1)北海道博物館

- ・本道の中核的博物館、道民参画型博物館として、さらなる魅力向上に努める。
- ・2020年に開設される国立アイヌ民族博物館等との役割分担を考慮に入れながら幅広い連携を図る。

(2)北海道開拓の村

- ・博物館としての役割を基本としながら、国内外からの旅行者をターゲットにした観光拠点や、古民家再生等人材の育成拠点としての活用を図る。

(3)百年記念塔・塔前広場

- ・長く道民の皆さんに親しまれてきたが、老朽化に伴う利用者への安全確保や将来世代への負担軽減の観点から、解体もやむを得ないと判断し、耐久性や維持コストにも配慮した新たなモニュメントを配置した交流空間とする(発展的継承)。

(4)野幌森林公園・近隣施設との連携

- ・良好な自然環境を保全するとともに、安心して利用できる環境づくりを進める。
- ・周辺の文化・スポーツ施設等と連携を図ることにより、より魅力的な交流空間として再生する。

今後の方向性

構想の実現に向け、具体的な取組に関する事業を実現可能なものから順次取り組みます。

2 北海道立総合博物館協議会

北海道立総合博物館条例に基づき、北海道立総合博物館の事業を円滑かつ適正に行うため、知事の附属機関として、「北海道立総合博物館協議会」及び「アイヌ民族文化研究センター専門部会」を設置しています。平成30年度の開催日・協議事項は次のとおりです。

北海道立総合博物館協議会

平成30年度実施の北海道立総合博物館協議会

第1回	日 時	平成30年6月8日(金) 13:30～15:30
	場 所	北海道博物館 講堂
	議 題	(1)平成30年度 北海道博物館 事業実施計画 (2)百年記念施設の継承と活用について (3)平成30年度 北海道立総合博物館協議会 スケジュール
第2回	日 時	平成31年3月27日(水) 13:30～15:30
	場 所	北海道博物館 講堂
	議 題	(1)平成30年度 北海道博物館 事業実績報告(業務実績に関する内部評価報告) (2)平成31年度 北海道博物館 年度計画 (3)ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想 (4)平成31年度 北海道立総合博物館協議会 スケジュール

委員 (任期:平成29年9月6日～平成31年9月5日)

氏 名	現 職(平成31年3月末日現在)
宇佐美 暢子	株式会社北海道二十一世紀総合研究所 顧問
大原 昌宏 (会長)	北海道大学総合博物館 副館長(教授)
児島 恭子	札幌学院大学 教授
佐々木 史郎	国立アイヌ民族博物館設立準備室 主幹
澤田 一憲 (副会長)	公益社団法人北海道アイヌ協会 理事、苫小牧アイヌ協会 会長
竹垣 吉彦	イオン北海道株式会社 常務執行役員取締役 管理本部長
湯浅 万紀子	北海道大学総合博物館 副館長(教授)

北海道立総合博物館協議会アイヌ民族文化研究センター専門部会

平成 30 年度実施の北海道立総合博物館協議会アイヌ民族文化研究センター専門部会

第 1 回	日 時	平成 30 年 7 月 10 日(火) 14:00～16:00
	場 所	北海道博物館 講堂
	議 題	(1)平成 30 年度第 1 回北海道立総合博物館協議会実施報告 (2)アイヌ民族文化研究センター平成 29 年度事業実績及び平成 30 年度事業実施計画 (3)百年記念施設の継承と活用について (4)今後のスケジュール等について (5)意見交換・情報交換

委員 (任期 : 平成 29 年 11 月 1 日～平成 31 年 10 月 31 日)

氏 名	現 職(平成 31 年 3 月末日)
大 島 稔	小樽商科大学 名誉教授
児 島 恭 子	札幌学院大学 教授
酒 井 奈々子	帯広カムイトゥウボポ保存会 会長
澤 田 一 憲 (部会長)	公益社団法人北海道アイヌ協会 理事、苫小牧アイヌ協会 会長
関 根 真 紀	平取アイヌ文化保存会 理事
中 村 吉 雄	公益社団法人北海道アイヌ協会 理事、千歳アイヌ協会 会長

※澤田専門部会長、児島委員は本会にあたる北海道立総合博物館協議会委員を兼務。

3 評価制度

概要

平成 22 (2010) 年 9 月に道が策定した「北海道博物館基本計画」の中で「博物館運営の評価」について、「運営が適切に行われているか否かを的確に検証し、改善に努める。」ことが示されました。これを受け、平成 27 (2015) 年 8 月に開催された第 1 回北海道立総合博物館協議会において、知事から協議会に対して「北海道博物館の評価方法のあり方について」の諮問が行われました。評価方法のあり方については、会長を中心とする 3 名の協議会委員による「評価作業部会」において検討され、平成 28 (2016) 年 3 月に開催された第 2 回の協議会で答申案が承認され、知事に提出されました。答申書の主な項目は以下のとおりです。

- ・ 北海道博物館（以下「博物館」という）の評価については、博物館による「内部評価」に加え、第三者による「外部評価」が必要である。（答申書第 1 項目）
- ・ 博物館が実施する「内部評価」は、博物館の基本的運営方針及び中期目標・計画に基づいて評価項目を設定し、評価判定を行う。（答申書第 2 項目）
- ・ 第三者による博物館の「外部評価」は、北海道立総合博物館協議会が実施する。
また、北海道立総合博物館協議会アイヌ民族文化研究センター専門部会は、外部評価のための基礎的な意見交換の役割を担うこととする。（答申書第 4 項目）
- ・ 「道民参加型組織」を立ち上げ、外部としての意見聴取・交換の機能を充実させるため、館長の諮問に応える組織をつくるのが望ましい。（答申書第 6 項目）

「内部評価」は、毎年度、北海道博物館の各グループによる項目別評価と博物館が設置する「北海道博物館内部評価委員会（以下、「内部評価委員会」という。）」による総括評価により行い、評価結果に対して協議会による外部点検が行われます。

「外部評価」については、第 1 期中期目標・計画の中間年である平成 29 (2017) 年度に協議会による「外部評価」が実施されました。また、中期目標・計画の最終年度にあたる平成 31 (2019) 年度には、5 年間の事業実施による中期目標・計画の達成状況についての「外部評価」を実施することが予定されています。

内部評価

項目別評価

各グループが実施した事業に関する点検作業の結果に基づいて、年度計画の項目ごとに、各グループのグループリーダーが年度事業の実績ならびに計画の達成状況や課題を整理するとともに、評価基準により評価を行っています。

総括評価

項目別評価の結果に基づいて、博物館が設置した「内部評価委員会」において、全体及び特記事項について記述式により以下の評価項目についての評価を行っています。

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| 評 価 項 目 | (1) 博物館活動の基盤となる、展示、調査研究等を推進させる措置 |
| | (2) 道民が特色ある地域文化の創造や地域活性化の拠点とするための措置 |
| | (3) 利用者の視点に立った博物館づくりへの措置 |
| | (4) 道民との連携、協働する博物館づくりへの措置 |
| | (5) 北海道の中核的博物館として、地域の活性化に貢献する措置 |
| | (6) 道民の知的興味に応える博物館づくりへの措置 |
| | (7) 研究成果を活かし、北海道の豊かな未来の実現に向けた措置 |
| | (8) アイヌ文化の振興に寄与すると共に多文化共生社会の実現に向けた措置 |
| | (9) 各々の措置を実施するために必要なガバナンス体制の確立に向けた措置 |

内部評価結果

平成 30 年度の北海道博物館事業に対する内部評価

評価項目	評価基準(4段階)
(1) 博物館活動の基盤となる、展示、調査研究等を推進させる措置	A (十分に実施している)
(2) 道民が特色ある地域文化の創造や地域活性化の拠点とするための措置	A (十分に実施している)
(3) 利用者の視点に立った博物館づくりへの措置	A (十分に実施している)
(4) 道民との連携、協働する博物館づくりへの措置	B (十分に実施していない)
(5) 北海道の中核的博物館として、地域の活性化に貢献する措置	A (十分に実施している)
(6) 道民の知的興味に応える博物館づくりへの措置	B (十分に実施していない)
(7) 研究成果を活かし、北海道の豊かな未来の実現に向けた措置	A (十分に実施している)
(8) アイヌ文化の振興に寄与すると共に多文化共生社会の実現に向けた措置	A (十分に実施している)
(9) 各々の措置を実施するために必要なガバナンス体制の確立に向けた措置	A (十分に実施している)

項目別評価・総括評価の評価基準と判断の目安

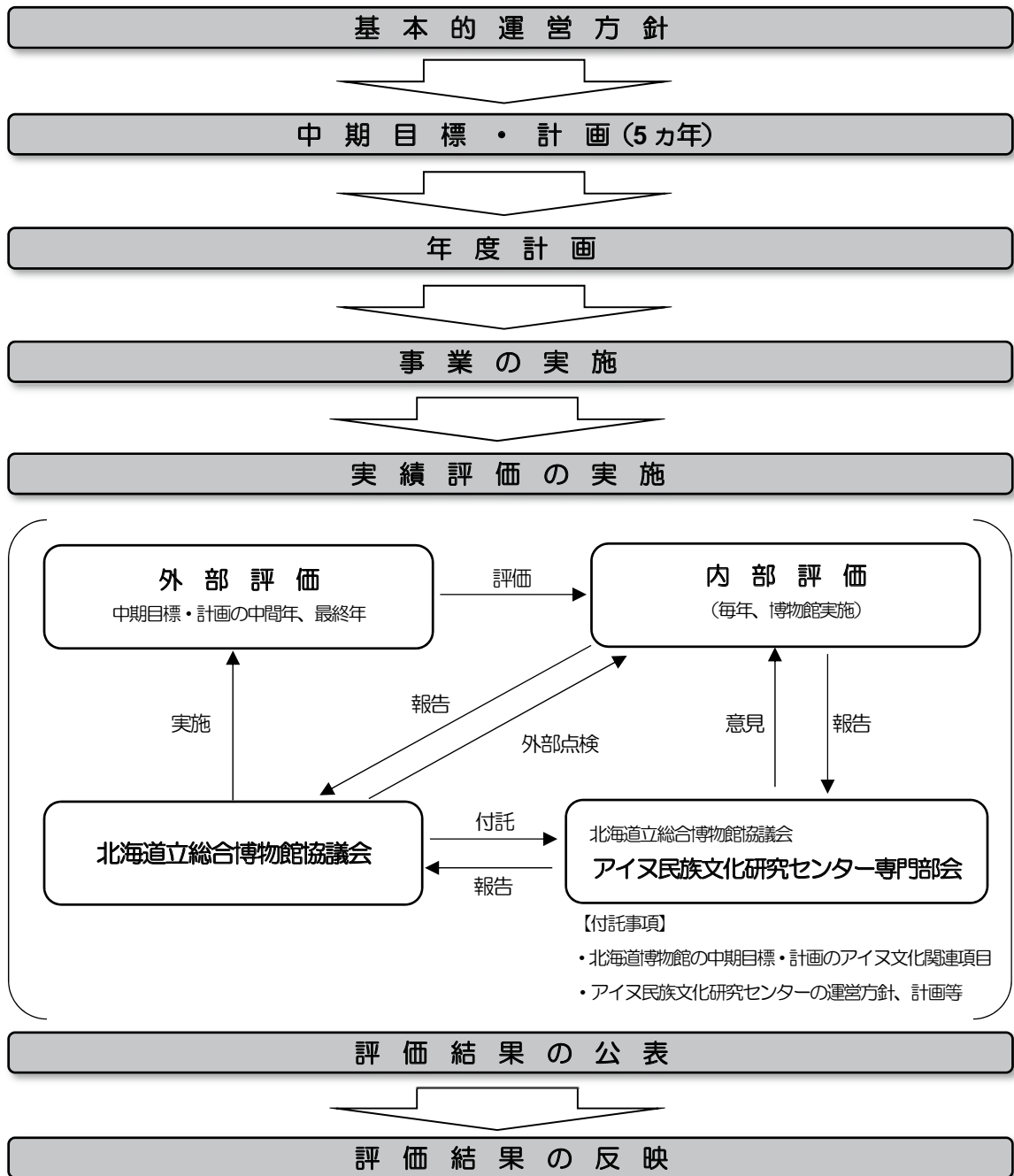
評価基準	判断の目安	
	取組の項目に関する事項(右欄の項目以外の項目)	数値目標の項目に関する事項
「S」 上回って実施している	取組の結果、所期の成果等を上回ったとき	達成度が 90%以上
「A」 十分に実施している	取組の結果、所期の成果等を得たとき	(S、A の評価は取組状況を勘案の上、判断する。)
「B」 十分に実施していない	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき	達成度が 90%未満
「C」 実施していない	取組が行われていないとき	(B、C の評価は取組状況を勘案の上、判断する。)

外部評価

北海道立総合博物館協議会により、博物館の中期目標・計画期間の中間年度及び終了年度に中期目標・計画の達成状況に関しての外部評価が実施されます。平成30年度は外部評価は実施しませんでした。

- 評価項目
- (1) 内部評価の結果に対する評価
 - (2) 内部評価の方法に対する評価
 - (3) 各年度の事業計画に対する評価
 - (4) 目標管理体制に対する評価
 - (5) ガバナンスに対する評価

アイヌ民族文化研究センター専門部会は、アイヌ民族文化研究センターの事業計画やその実績に関して基礎的な意見交換を行い、その結果を外部評価の資料として提出します。



- 各年の年度計画
- 次期中期目標・計画

4 利用者調査

道民と共に歩み、愛される博物館を目指し、利用者からの意見・評価を幅広く集め、今後の展示の企画や教育普及事業、広報活動といった博物館活動や運営の改善に活かすため、アンケートによる利用者調査を実施しています。平成30(2018)年度の実施時期と結果は以下のとおりです。

平成30年度 利用者調査結果

	期間	観覧者数	アンケート回答数				
			回答率	総数	男性	女性	
№1 第11回企画テーマ展	野幌森林公園いきもの図鑑	2018年4月27日～6月3日	12,060	1.9%	224	105	112
	総合展示(上記の1項目として実施)	2018年4月27日～6月3日	12,425	1.2%	146		
№2 第4回特別展	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	2018年6月30日～8月26日	44,477	1.3%	585	309	261
	総合展示(上記の1項目として実施)	2018年6月30日～8月26日	31,147	1.0%	314		
№3 第12回企画テーマ展	りんご農家の道具	2018年9月21日～11月25日	10,085	1.6%	164	82	74
	総合展示(上記の1項目として実施)	2018年9月21日～11月25日	19,115	0.5%	95		
№4 国立科学博物館 巡回ミュージアム	生命のれきしー君につながるものがたりー	2018年12月8日～2019年1月20日	13,101	1.7%	222	116	99
	総合展示(上記の1項目として実施)	2018年12月8日～2019年1月20日	8,398	1.5%	122		
№5 第13回企画テーマ展	アイヌ民族の文化財を未来へつなぐ	2019年2月8日～4月7日	8,345	1.8%	152	76	71
	総合展示(上記の1項目として実施)	2019年2月8日～4月7日	8,363	1.1%	95		
計			167,516	1.3%	2,119	688	617

アイヌ文化巡回展		期間	観覧者数	アンケート回答数			
				回答率	総数	男性	女性
№6 第4回アイヌ文化巡回展	アイヌ語地名を歩く 2018 層雲峡	2018年8月21日～9月30日	8,792	2.0%	180	92	32
№7 第5回アイヌ文化巡回展	アイヌ語地名を歩く 2018 標津	2018年10月6日～10月21日	2,164	0.4%	8	7	1
計			10,956	1.7%	188	99	33

■ 年代

		10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70代	80代以上	総計
№1 第11回企画テーマ展	野幌森林公園いきもの図鑑	50	52	18	15	23	16	4	13	26	7	224
	総合展示(上記の1項目として実施)											
№2 第4回特別展	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	42	61	19	25	60	62	39	70	163	37	578
	総合展示(上記の1項目として実施)											
№3 第12回企画テーマ展	りんご農家の道具	35	42	16	7	14	8	3	10	18	8	161
	総合展示(上記の1項目として実施)											
№4 国立科学博物館 巡回ミュージアム	生命のれきしー君につながるものがたりー	84	41	12	16	24	13	2	8	14	6	220
	総合展示(上記の1項目として実施)											
№5 第13回企画テーマ展	アイヌ民族の文化財を未来へつなぐ	21	38	24	15	16	15	4	3	11	1	148
	総合展示(上記の1項目として実施)											
計		232	234	89	78	137	114	52	104	232	59	1,331

アイヌ文化巡回展		10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70代	80代以上	総計
№6 第4回アイヌ文化巡回展	アイヌ語地名を歩く 2018 層雲峡	12	3	12	25	35	33	24	17	13	6	180
№7 第5回アイヌ文化巡回展	アイヌ語地名を歩く 2018 標津	0	0	1	0	0	3	0	0	2	2	8
計		12	3	13	25	35	36	24	17	15	8	188

■ 居住地

		札幌市内	江別市	北広島市	恵庭市	千歳市	石狩市	その他道内	道外	国外
№1	第11回企画テーマ展 野幌森林公園いきもの図鑑	127	34	7	6	5	1	15	14	12
№2	第4回特別展 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	345	42	14	10	11	4	104	49	0
№3	第12回企画テーマ展 りんご農家の道具	73	3	3	3	5	8	23	29	14
№4	国立科学博物館 巡回ミュージアム 生命のれきしー君につながるものがたりー	153	16	7	6	8	2	14	6	4
№5	第13回企画テーマ展 アイヌ民族の文化財を未来へつなぐ	63	11	1	2	1	1	13	41	14
計		761	106	32	27	30	16	169	139	44

アイヌ文化巡回展		上川町	上川管内	その他道内	道外	国外
№6	第4回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 層雲峡	5	54	57	61	3

アイヌ文化巡回展		標津町	中標津町	根室管内	その他道内	道外	国外
№7	第5回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 標津	4	1	1	2	0	0

■ 同伴者

		ひとりで	友人・仲間	カップル	夫婦	家族・親子で	学校で	その他
№1	第11回企画テーマ展 野幌森林公園いきもの図鑑	41	23	10	32	98	16	3
№2	第4回特別展 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	181	75	5	150	161	10	13
№3	第12回企画テーマ展 りんご農家の道具	29	25	12	12	52	25	8
№4	国立科学博物館 巡回ミュージアム 生命のれきしー君につながるものがたりー	23	21	6	20	144	2	4
№5	第13回企画テーマ展 アイヌ民族の文化財を未来へつなぐ	39	32	5	18	53	1	3
計		313	176	38	232	508	54	31

アイヌ文化巡回展		ひとりで	友人・仲間	カップル	夫婦	家族・親子で	学校で	その他
№6	第4回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 層雲峡	56	28	11	44	29	3	10
№7	第5回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 標津	5	0	0	0	2	0	1
計		61	28	11	44	31	3	11

■ 情報源

No	展覧会名	複数回答可													
		新聞	雑誌	テレビ	ラジオ	ポスター	ちらし	友人・知人の口コミ	友人・知人のSNS	当館のHP	Twitter	当館のイベント	赤れんが庁舎展示	その他告知	来館して
No1	第11回企画テーマ展 野幌森林公園いきもの図鑑	30	15	25	6	60	70	24	15	12	6	6	2	8	33
No2	第4回特別展 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	289	29	173	16	171	133	55	16	34	10	15	15	21	17
No3	第12回企画テーマ展 りんご農家の道具	15	11	19	8	33	35	15	5	6	0	2	3	22	26
No4	国立科学博物館 巡回ミュージアム 生命のれきしー君につながるものがたりー	35	2	18	7	32	106	7	3	22	1	6	1	6	9
No5	第13回企画テーマ展 アイヌ民族の文化財を未来へつなぐ	15	9	12	3	39	25	11	4	13	2	4	1	14	26
計		384	66	247	40	335	369	112	43	87	19	33	22	71	111

No	展覧会名	複数回答可										
		新聞	広報誌	テレビ	ラジオ	ポスター	友人・知人の口コミ	友人・知人のSNS	巡回館HP	道博のHP	来館して	その他
No6	第4回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 層雲峡								84	0	94	3
No7	第5回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 標津						1		4	0	3	1
計		0	0	0	0	0	1	0	88	0	97	4

■ 展示に対する満足度

No	展覧会名	満足度	内訳				
			たいへん満足	満足	不満足	たいへん不満	無回答
No1	総合展示 2018年4月27日～6月3日	97.9%	64	79	2	1	
No2	総合展示 2018年6月30日～8月26日	96.8%	141	163	6	4	
No3	総合展示 2018年9月21日～11月25日	92.6%	54	34	3	4	
No4	総合展示 2018年12月8日～2019年1月20日	95.1%	57	59	5	1	
No5	総合展示 2019年2月8日～4月7日	97.1%	52	47	1	2	
No1	第11回企画テーマ展 野幌森林公園いきもの図鑑	86.2%	95	98	3	6	22
No2	第4回特別展 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	85.6%	273	228	33	6	45
No3	第12回企画テーマ展 りんご農家の道具	81.1%	80	53	9	4	18
No4	国立科学博物館 巡回ミュージアム 生命のれきしー君につながるものがたりー	84.2%	99	88	8	4	23
No5	第13回企画テーマ展 アイヌ民族の文化財を未来へつなぐ	86.2%	60	71	4	6	11
計		89.1%	975	920	74	38	119

No	展覧会名	満足度	内訳			
			たいへん満足	満足	不満足	たいへん不満
No6	第4回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 層雲峡	94.1%	31	112	8	1
No7	第5回アイヌ文化巡回展 アイヌ語地名を歩く 2018 標津	100.0%	3	4	0	0
計		94.3%	34	116	8	1

5 職員の資質向上

職員の専門的知識及び教育普及活動等の技能の向上を図るために、館外で実施される研修会などへの当館職員の派遣・参加を行っています。また館内研修として、原則として毎月1回、学芸職員がそれぞれ研究経過の報告をする「館内定例研究報告会」を実施しています。

職員の派遣研修

平成30年度の派遣研修(13件、39名)

研修名	主催	研修内容	期間	場所	氏名
平成30年度道央地区博物館等連絡協議会 第1回研修会	道央地区博物館等連絡協議会	開拓の村施設改修・展示の更新とともに導入したインバウンド対策	5月31日	北海道開拓の村(札幌市)	鈴木明世 亀丸由紀子 鈴木あすみ
第8回ミュージアム・エドゥケーター研修	文化庁	美術館・歴史博物館における教育普及を担当するための専門的知識及び技能の習得	9月19日～21日	東京都美術館(東京都台東区)	圓谷昂史
北海道博物館協会学芸職員部会研修会	北海道博物館協会 学芸職員部会、国立科学博物館、北海道博物館協会	資料の取り扱いと修復	9月28日～29日	美幌博物館(美幌町)	会田理人 栗原憲一 圓谷昂史 表 溪太 亀丸由紀子 鈴木あすみ
日胆地区博物館等連絡協議会平成30年度研修会	日胆地区博物館等連絡協議会、国立科学博物館、北海道博物館協会	博物館の展示の魅力を伝える	10月16日～17日	豊浦町礼文華中学校	栗原憲一 尾曲香織 鈴木あすみ
学芸員技術研修会(展示制作)	「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」構築に向けたマネジメント人材育成事業実行委員会	展覧会の作り方	10月22日	大分県立歴史博物館(宇佐市)	会田理人
道北地区博物館等連絡協議会平成30年度研修会	道北地区博物館等連絡協議会、国立科学博物館、北海道博物館協会	樹脂封入標本の製作	10月27日	士別市立博物館	表 溪太 鈴木あすみ
北海道青少年科学館連絡協議会研修会	北海道青少年科学館連絡協議会、国立科学博物館、北海道博物館協会	人と科学をつなげるサイエンスコミュニケーション	11月15日～16日	札幌市青少年科学館	鈴木明世 鈴木あすみ
道南ブロック博物館施設等連絡協議会研修会	道南ブロック博物館施設等連絡協議会、国立科学博物館、北海道博物館協会	博物館施設における多言語化	12月4日	江差町保健センター	栗原憲一
シンポジウム「ミュージアムが公共空間を彩る」	自然史レガシー発信・継承実行委員会	公共空間への博物館展示などの展開について学ぶ	1月12日	北海道大学総合博物館	堀 繁久 水島未記 表 溪太 鈴木あすみ

研修名	主催	研修内容	期間	場所	氏名
平成30年度アイヌ文化財専門職員等研修会	北海道教育庁	アイヌ文化財の保存・活用方法	1月15日	北海道庁赤れんが庁舎(札幌市)	大坂 拓 鈴木明世 亀丸由紀子 田中 祐未
平成30年度道央地区博物館等連絡協議会 第3回研修会	道央地区博物館等連絡協議会、北海道博物館協会、北海道博物館、国立科学博物館	シンポジウム「地域の情報発信拠点としての博物館」(博物館と観光、地域の情報発信とのつながりについて)	1月18日	北海道博物館(札幌市)	石森秀三 山中 剛 舟山直治 ほか8名
道東3管内博物館施設等連絡協議会研修会	道東3管内博物館施設等連絡協議会、国立科学博物館、北海道博物館協会	博物館の展示制作について考えよう	2月20日～21日	釧路市立博物館	会田理人 表 溪太 鈴木あすみ
日本博物館協会 平成30年度研究協議会	公益財団法人日本博物館協会	平成の大規模災害と博物館	3月7日～8日	北海道博物館(札幌市)	当館職員
北海道美術館学芸員研究協議会研修会	北海道美術館学芸員研究協議会	各館学芸員による事例紹介	3月7日～8日	北海道立近代美術館	三浦泰之 田中 祐未

館内研修

平成30年度の館内定例研究報告会

日時	発表者	研究グループ	タイトル
5月30日			各研究グループ年度計画
6月27日	鈴木あすみ 亀丸由紀子	博物館研究グループ アイヌ文化研究グループ	博物館資料の利用例と今後の課題ー小型哺乳類の形態学的研究を例としてー アイヌの耳飾り(ニンカリ)に関する基礎的研究
8月1日	鈴木明世 右代啓視	博物館研究グループ 歴史研究グループ	大地と居住 その媒介としての建築ー長期持続的集落地域(千年村)の研究ー 北方先史文化の繊維資料の研究
8月8日	ゲンナジー・マチュシコフ ヴィクトリア・ドゥビニーナ	サハリン州郷土博物館 サハリン州郷土博物館	Finds of fossil remains of a sea cow skeleton (<i>Hydrodamalis spissa</i> Furusawa, 1988) in the valley of Lyutoga River, Sakhalin Island <i>Loxostege sticticalis</i> L. (Lepidoptera: Pyralidae) of Sakhalin
10月10日	甲地利恵 山際秀紀	アイヌ文化研究グループ 生活文化研究グループ	神話の旋律構造 リンゴ農家の道具調査
10月31日	表溪太 杉山智昭	自然研究グループ 博物館研究グループ	鳥類の体色と果実に含まれるカロテノイドの関係について アイヌ民族文化財修復にむけたX線CTによる資料現況調査
11月28日	大坂拓 東俊佑	アイヌ文化研究グループ 歴史研究グループ	檜山・後志のアイヌ民具 フラージェム家文書の整理について
12月26日	山田伸一 佐々木利和	歴史研究グループ アイヌ文化研究グループ	馬とアイヌ民族の近代史についての一試論 大英博物館蔵「蝦夷風俗絵巻二」について
2月6日	会田理人	生活文化研究グループ	北海道における海女出稼ぎ漁
2月27日	堀繁久 田村雅史	博物館研究グループ アイヌ文化研究グループ	北海道のゲンゴロウー種類と生息環境ー アイヌ語ブロックについて
4月3日 (3月分の 日程延期)	水島未記 池田貴夫	自然研究グループ 生活文化研究グループ	のっぽろの森には何種の種子植物があるか? 糞突き棒(仮称)の研究

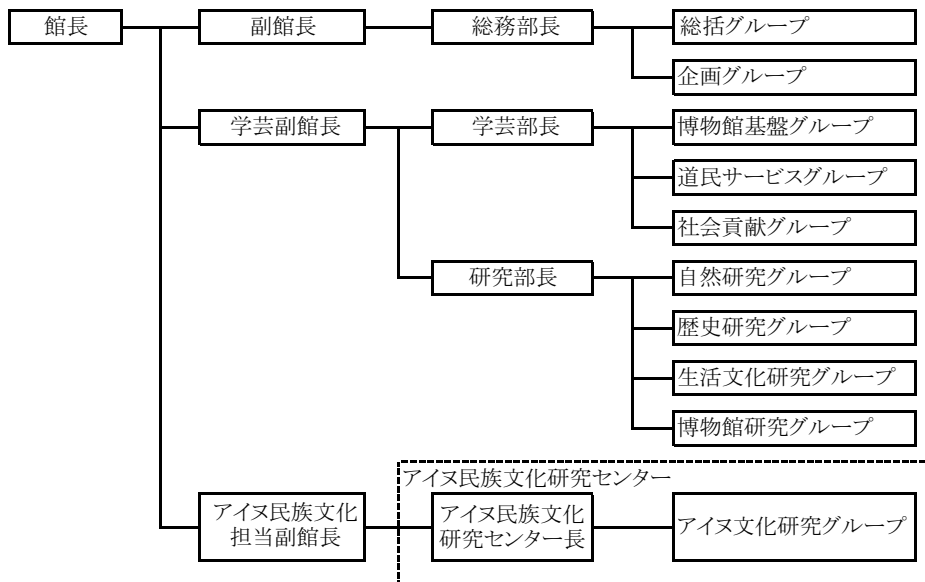
6 組織・職員名簿

歴代館長

初代 石森秀三

平成27(2015)年4月1日～

組織



現員（平成31年1月1日現在）

所属	区分	常勤		非常勤		合計
		行政職	研究職	特別職	一般職	
館長				1		1
副館長		1				1
学芸副館長			1			1
アイヌ民族文化担当副館長				1		1
アイヌ民族文化研究センター長			(1)			(1)
部長		1	1(1)			2(1)
総括グループ		5(1)				5(1)
企画グループ			5			5
博物館基盤グループ			9			9
道民サービスグループ			8			8
社会貢献グループ		1	4(1)			5(1)
自然研究グループ			(4)			(4)
歴史研究グループ			(6)			(6)
生活文化研究グループ			(5)			(5)
博物館研究グループ		(1)	(6)			(7)
アイヌ文化研究グループ			1(5)	2		3(5)
解説員					11	11
合計		8(2)	29(29)	4	11	52(31)

※（ ）は、兼務数で外数。

学芸職員の研究分野（平成31年1月1日現在）

区分	研究分野	専門領域	人数
自然研究	地学	古生物	1
		古環境	1
	生物学	植物	1
		無脊椎動物	1
		脊椎動物	1
小計		5	
歴史研究	考古学	人類史	1
		北方史	1
	歴史学	近世史	1
		近代史	1
		現代史	1
	美術史学	北海道の美術・工芸史	1
小計		6	
生活文化研究	産業学	産業資源・物流	1
		産業技術・工学	1
		産業構造・産業経済	1
	生活学	日常生活	1
		儀礼・信仰・年中行事	1
		女性・寒冷地	1
小計		6	
博物館研究	博物館基盤研究	博物館教育・展示学	1
		文化財保存学	1
		建造物保存修復学	1
		建築史	1
		博物館資料学	1
		図書館情報学	1
	小計		6
アイヌ文化研究	言語	アイヌ語（北部・東部）	1
		アイヌ語（南部・西部）	1
		アイヌ口承文芸	1
	歴史（アイヌ文化研究史・研究情報）	アイヌ史	1
	芸能	歌謡・舞踊等	1
	民具・伝統的生活技術	伝統的生活技術	1
		民具	1
	小計		7
合計		30	

職員名簿（平成31年1月1日現在）

北海道博物館		研究主査 田村 雅史	研究職員（兼） 園谷 昂史	研究職員（兼） 大谷 洋一
館長（非常勤）	石森 秀三	研究職員 大坂 拓	歴史研究グループ	
副館長	山中 剛	学芸員 表 溪太	学芸主幹（兼） 右代 啓視	研究職員（兼） 遠藤 志保
学芸副館長	小川 正人	学芸員 尾曲 香織	学芸主幹（兼） 三浦 泰之	研究職員（兼） 大坂 拓
アイヌ民族文化担当副館長（非常勤）	中村 亘	学芸員 鈴木あすみ	学芸主査（兼） 山田 伸一	学芸員（兼） 亀丸由紀子
総務部		道民サービスグループ		研究職員（非常勤） 佐々木利和
総務部長	川田 宣人	学芸主幹（GL） 池田 貴夫	学芸主査（兼） 鈴木 琢也	研究職員（非常勤） 奥田 統一
総括グループ		学芸主査 東 俊佑	学芸主査（兼） 東 俊佑	解説員
主幹（GL）（兼）	川田 宣人	学芸主査 添田 雄二	学芸員（兼） 田中 祐未	主事（非常勤） 麻生 典子
主査	鈴木 健介	学芸主査 青柳かつら	生活文化研究グループ	
主査	杉村 直樹	研究職員 園谷 昂史	学芸主幹（兼） 池田 貴夫	主事（非常勤） 越田 雅子
主査	古野健太郎	学芸員 田中 祐未	学芸主査（兼） 山際 秀紀	主事（非常勤） 福島奈緒子
専門主任	西尾 千秋	研究職員 鈴木 明世	学芸主査（兼） 会田 理人	主事（非常勤） 堀 泰子
主任	徳本 彩	学芸員 亀丸由紀子	学芸主査（兼） 青柳かつら	主事（非常勤） 山田日登美
企画グループ		社会貢献グループ		主事（非常勤） 浅井 雅世
学芸主幹（GL）	右代 啓視	学芸主幹（GL） 水島 未記	博物館研究グループ	
学芸主幹（SGL）	三浦 泰之	研究主幹（SGL）（兼） 甲地 利恵	学芸主幹（兼） 堀 繁久	主事（非常勤） 折館 里佳
学芸主査	会田 理人	学芸主査 杉山 智昭	学芸主査（兼） 杉山 智昭	主事（非常勤） 今村ゆみ子
研究職員	遠藤 志保	主査 櫻井万里子	主査（兼） 櫻井万里子	主事（非常勤） 久保田幸恵
学芸員	村上 孝一	学芸主査 栗原 憲一	学芸主査（兼） 栗原 憲一	主事（非常勤） 川村 昌江
学芸部		研究職員 大谷 洋一	学芸員（兼） 鈴木あすみ	
学芸部長	舟山 直治	研究部		研究職員（兼） 鈴木 明世
博物館基盤グループ		研究部長（兼） 小川 正人	アイヌ民族文化研究センター	
学芸主幹（GL）	堀 繁久	自然研究グループ		アイヌ民族文化研究センター長（兼） 小川 正人
学芸主査	山際 秀紀	学芸主幹（兼） 水島 未記	アイヌ文化研究グループ	
学芸主査	鈴木 琢也	学芸主査（兼） 添田 雄二	研究主幹 甲地 利恵	人事異動 新任（12月1日付）
学芸主査	山田 伸一	学芸員（兼） 表 溪太	研究主査（兼） 田村 雅史	

グループ	主な事務分掌又は研究分野
総務部	<p>総括グループ 館の庶務、職員の人事・服務・研修・福利厚生、職員の給与・手当、館の予算・経理・決算、庁中管理、公有財産・物品、式典、指定管理、自然公園法、道立自然公園条例など</p> <p>企画グループ 館業務の総合的企画及び連絡調整、自己点検評価、博物館協議会の運営、北海道開拓の村の整備・修繕計画など</p>
学芸部	<p>博物館基盤グループ 資料、展示及び調査研究に係る業務の企画、調整など</p> <p>道民サービスグループ 教育普及事業、利用者サービス及び広報に係る業務の企画、調整など</p> <p>社会貢献グループ 博物館交流、情報発信及び研究成果の活用に係る業務の企画、調整など</p>
研究部	<p>自然研究グループ 自然史系分野(地学、生物学)</p> <p>歴史研究グループ 歴史系分野(考古学、歴史学、美術史学)</p> <p>生活文化研究グループ 生活文化系分野(産業学、生活学)</p> <p>博物館研究グループ 博物館学系分野(展示学、博物館教育学、保存科学、資料管理学、図書館学)</p>
アイヌ民族文化研究センター	アイヌ文化研究グループ アイヌ文化系分野(言語、歴史、芸能、民具・伝統的生活技術)

7 予算

平成30年度当初予算

事業名	文化振興事業費（北海道博物館管理運営費）				
事業の概要	北海道博物館、北海道開拓の村、自然ふれあい交流館の管理・運営を行います。				
	項目	内容		予算額(千円)	
	管理運営費(指定管理負担金)	指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団 指定管理期間：H27～H30		346,757	
	非常勤職員 標準経費	報酬等		72,597 522	
	計			419,876	
予算額及び 財源内訳	予算額(千円)		本年度	前年度	行政財産使用料
			419,876	433,704	
	内訳	一般財源	419,491	433,319	
		特定財源	385	385	
摘要					

事業名	文化振興事業費（北海道博物館費（事業費、試験研究費））				
事業の概要	北海道博物館において、北海道の歴史、文化、自然等に関する資料を総合に収集、保管、展示、調査研究等を行うとともに、道内博物館等の活性化を支援し、本道全体の地域文化の魅力向上を図ります。				
	項目	内容		予算額(千円)	
	事業費	展示、交流連携、情報システム整備、教育普及イベント 開催等		12,164	
	試験研究費	調査研究		15,070	
	計			27,234	
予算額及び 財源内訳	予算額(千円)		本年度	前年度	科研費間接経費
			27,234	27,168	
	内訳	一般財源	22,464	22,464	
		特定財源	4,770	4,704	
摘要					

事業名	文化振興事業費（地域文化発信推進事業）		特定重点		
事業の概要	北海道の魅力ある文化を国内外に発信するため、北海道博物館において特別展を開催します。				
	項目	内容		予算額(千円)	
	北海道博物館特別展の 開催	北海道博物館第4回特別展「松浦 武四郎」 ・重要文化財の展示 ・子ども向け体験展示の実施		25,326	
	計			25,326	
予算額及び 財源内訳	予算額(千円)		本年度	前年度	国庫補助金（文化芸術創造拠点形成事業）
			25,326	8,560	
	内訳	一般財源	12,663	4,280	
		特定財源	12,663	4,280	
摘要					

事業名	文化振興事業費（開拓の村・百年記念塔施設整備費）				
事業の概要	北海道開拓の村で復元・展示している歴史的建造物の老朽化による修繕及び百年記念塔補修工事を実施します。				
	項目	内容	予算額（千円）		
	施設設備整備費	開拓の村建造物補修工事 百年記念塔保守管理	2,031 2,938		
	計		4,969		
予算額及び 財源内訳	予算額（千円）		本年度	前年度	建物改修に伴う実施設計及び工事費は建設部へ移管
			4,969	10,210	
	内訳	一般財源	4,969	10,210	
摘要					

事業名	文化振興事業費（野幌森林公園管理費・施設整備費）				
事業の概要	野幌森林公園内に所在する施設の老朽化が進んでいるため、利用者の安全確保の観点から緊急度の高い施設の改修等を行います。				
	項目	内容	予算額（千円）		
	野幌森林公園 施設改修工事 維持費 標準経費	大沢口木橋・公園外構 公園管理等	9,000 4,135 203		
	計		13,338		
予算額及び 財源内訳	予算額（千円）		本年度	前年度	
			13,338	13,338	
	内訳	一般財源	13,338	13,338	
摘要					

事業名	民族共生象徴空間誘客促進・地域連携事業費（アイヌ文化情報発信強化事業）				
事業の概要	民族共生象徴空間開設に向け、北海道博物館が有する教育や広報機能を活用し、誘客促進とアイヌ文化の理解促進を図ります。				
	項目	内容	予算額（千円）		
	巡回展・出前講演会 学習冊子 アイヌ文化アーカイブ	アイヌ語地名や口承文芸等に関する巡回講演・展示会 アイヌ文化学習小冊子印刷・発行 インターネット情報基盤の機能拡充	890 2,700 6,410		
	計		10,000		
予算額及び 財源内訳	予算額（千円）		本年度	前年度	地方創生推進交付金
			10,000		
	内訳	一般財源	5,000	-	
		特定財源	5,000		
摘要	総合政策部計上				

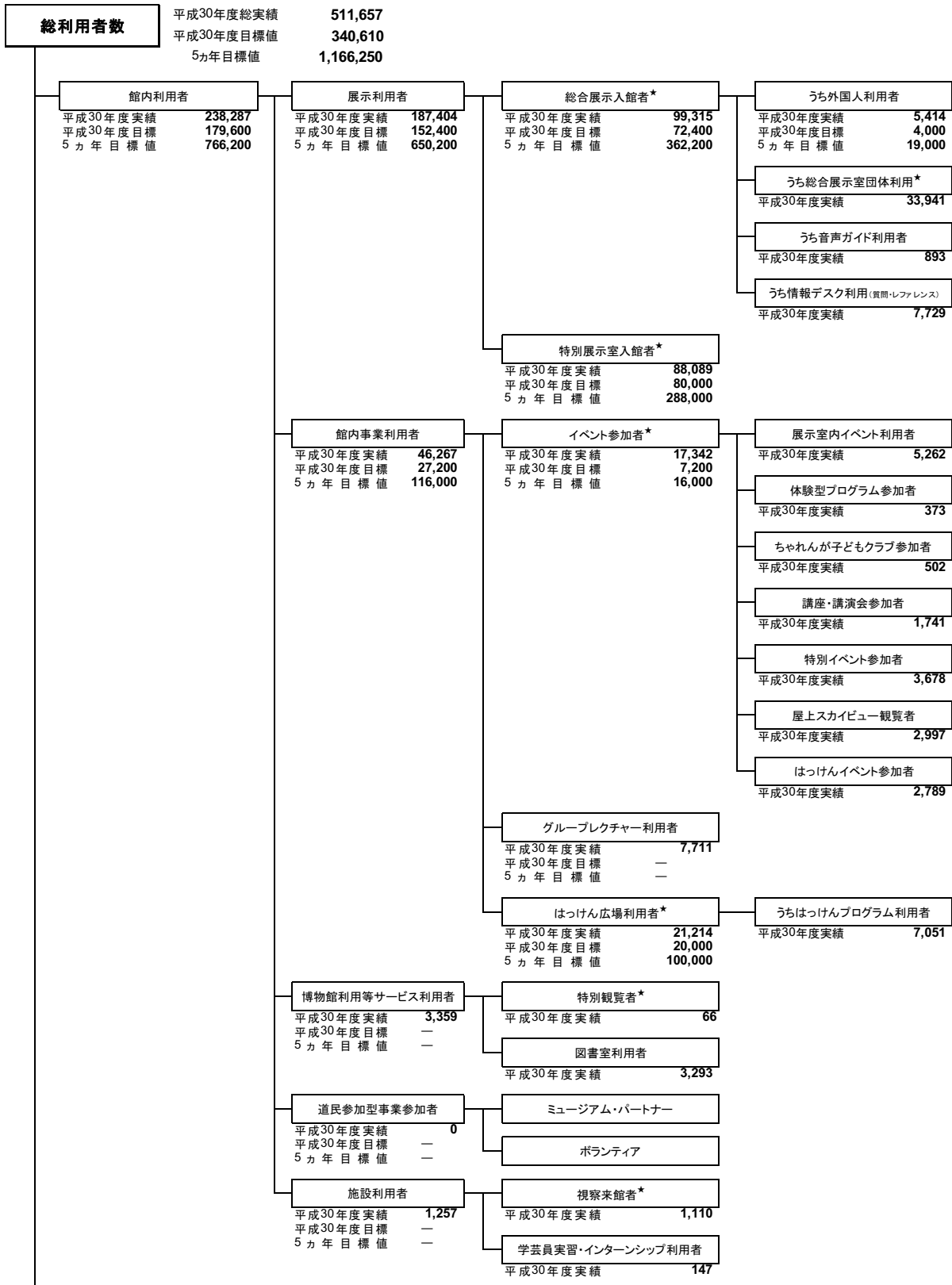
事業名	歴史文化資源を活かした交流・人材育成拠点整備事業費				
事業の概要	地域の歴史文化資源を活かしたまちづくりや地方創生を進めるため、開拓の村の施設整備を行います。				
	項目	内容		予算額 (千円)	
	旧龍雲寺、旧若狭家たみ倉改修工事	改修工事		100,000	
	計			100,000	
予算額及び財源内訳	予算額 (千円)		本年度	前年度	地方創生拠点整備交付金 1/2、補正予算債 1/2
				100,000	
	内訳	一般財源		0	
		特定財源		100,000	
摘要	総合政策部計上 (繰越明許)				

事業名	北海道立総合博物館省エネ照明設備等導入費				
事業の概要	北海道博物館、北海道開拓の村、自然ふれあい交流館、野幌森林公園の照明設備をLED化します。				
	項目	内容		予算額 (千円)	
	LED化改修工事			5,000	
	計			5,000	
予算額及び財源内訳	予算額 (千円)		本年度	前年度	電源立地地域対策交付金
			5,000	—	
	内訳	一般財源		—	
		特定財源	5,000	—	
摘要	経済部計上				

8 利用者数

平成30年度の北海道博物館の総利用者数

※用語・記号について
 ・平成30年度目標値 平成30年度の年度計画における目標値です。
 ・5カ年目標値 「北海道博物館中期目標・計画(第1期)平成27年度～平成31年度」における目標値です。
 ・★(星印) 「月別利用者数の推移」を別添掲載している項目であることを示しています。



館外利用者	平成30年度実績 15,331 平成30年度目標 1,010 5カ年目標値 5,050	博物館連携事業	平成30年度実績 14,682 平成30年度目標 — 5カ年目標値 —	巡回展などの観覧者	平成30年度実績 10,956
				イベント参加者	平成30年度実績 3,726
		博学連携	平成30年度実績 14 平成30年度目標 — 5カ年目標値 —	出前講座・授業参加者	
				教員対象研修参加者	平成30年度実績 14
		道内市町村等との連携・協力	平成30年度実績 30 平成30年度目標 40 5カ年目標値 200	連携・協力件数	平成30年度実績 30 平成30年度目標 40 5カ年目標値 200
		来館しない利用者	平成30年度実績 619 平成30年度目標 970 5カ年目標値 4,850	写真の提供	平成30年度実績 126 平成30年度目標 70 5カ年目標値 350
				レファレンス	平成30年度実績 471 平成30年度目標 800 5カ年目標値 4,000
				アンケート、その他の利用	平成30年度実績 22 平成30年度目標 100 5カ年目標値 500
ホームページ利用者	平成30年度実績 259,947 平成30年度目標 160,000 5カ年目標値 395,000			ホームページアクセス件数*	平成30年度実績 259,947 平成30年度目標 160,000 5カ年目標値 395,000

月別利用者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
総合展示室	4,550	9,870	8,383	13,544	19,444	10,631	10,455	4,378	4,027	6,026	3,407	4,600	99,315
特別展示室	3,312	8,871	1,906	18,304	25,325	2,108	5,156	2,821	4,966	8,135	2,689	4,496	88,089
はっけん広場	1,227	2,054	1,730	1,909	2,885	3,273	2,872	893	907	1,923	611	930	21,214
イベント	1,785	2,506	589	4,299	2,350	1,777	357	544	587	1,845	415	288	17,342
資料閲覧	7	5	6	7	4	8	9	6	4	2	4	4	66
総合展示室団体利用	658	3,865	4,446	2,956	4,139	6,863	6,835	1,431	437	802	706	803	33,941
視察者 (上段：総合展示、下段：特別展)	17 32	165 134	164 182	105 51	13	40	63	7	61	8	68		1,110
小計	11,556	27,203	17,225	41,365	54,303	24,673	25,724	10,136	10,935	18,794	7,840	11,189	260,943
赤れんがサテライト	52,332	65,591	71,851	81,382	99,607	41,138	46,726	37,206	45,965	37,757	54,885	61,465	695,905
ホームページ	18,993	21,478	23,098	34,220	40,525	20,553	18,337	16,281	17,280	18,740	15,044	15,398	259,947
総計	82,881	114,272	112,174	156,967	194,435	86,364	90,787	63,623	74,180	75,291	77,769	88,052	1,216,795

※この表は、119-120 ページ「総利用者数」の図のうちの「★」が付いた項目と赤れんがサテライトについての月別利用者数の推移をまとめたものです。